

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公表番号】特表 2012-508198 (P2012-508198A)

【公表日】平成 24 年 4 月 5 日 (2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-014

【出願番号】特願 2011-535019 (P2011-535019)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/30 (2006.01)

C 0 7 F 9/34 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 9/30

C 0 7 F 9/34

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/00

C 0 8 K 5/5313

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 11 日 (2014.4.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 0 】

好ましくは、触媒 B は、過酸化水素、過酸化ナトリウム、過酸化リチウム、過硫酸カリウム、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、パーオキシ二硫酸ナトリウム、パーオキシホウ酸カリウム、過酢酸、過酸化ベンゾイル、過酸化ジ - t - ブチル及び / またはパーオキシ二硫酸、及び / またはアゾジイソブチロニトリル、2, 2' - アゾビス (2 - アミジノプロパン) ジヒドロクロライド及び / または 2, 2' - アゾビス (N, N' - ジメチレン - イソブチルアミジン) ジヒドロクロライド、及び / またはリチウム、水素化リチウム、水素化アルミニウムリチウム、メチルリチウム、ブチルリチウム、t - ブチルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド、ナトリウム、水素化ナトリウム、水素化ホウ素ナトリウム、ナトリウムメタノレート、ナトリウムエタノレートまたは ナトリウムブチレート、カリウムメタノレート、カリウムエタノレートまたは カリウムブチレート である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 1 8 】

また、金属、金属水素化物及び金属アルコレート、例えばリチウム、水素化リチウム、

水素化アルミニウムリチウム、メチルリチウム、ブチルリチウム、*tert* - ブチルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド、ナトリウム、水素化ナトリウム、水素化ホウ素ナトリウム、ナトリウムメタノレート、ナトリウムエタノレートまたはナトリウムブチレート、カリウムメタノレート、カリウムエタノレートまたはカリウムブチレートも好ましい触媒 B である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0204

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0204】

例 8

温度計、還流冷却器、強力攪拌機及び滴下漏斗を備えた 1 L の五つ首フラスコ中に、447 g (3 モル) のエチル亜ホスホン酸ブチルエステル (例 8 に記載のように製造したもの) 及び 385 g (3 モル) のアクリル酸ブチルエステルを仕込んだ。攪拌下に、15 ml のナトリウムブチレート (ブタノール中 30 % 濃度) を、最大 120 の反応温度が調節されるような速度で滴下する。こうして得られた粗製生成物を真空下に蒸留する。収量：無色の液体としての 745 g (理論値の 90 %) の 3 - (エチルブトキシホスフィニル) プロピオン酸ブチルエステル。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0214

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0214】

例 18

177 g (1 モル) の 3 - (エチルヒドロキシホスフィニル) - 2 - メチルプロピオン酸メチルエステル (例 6 に記載のように製造したもの) 及び 140 g のチタンテトラブチレート を、500 ml のトルエン中で、還流下に 40 時間加熱する。この際生ずるブタノールを、トルエンの一部と一緒に時々留去する。次いで、生じた溶液から溶剤を除去する。196 g の 3 - (エチルヒドロキシホスフィニル) - 2 - メチルプロピオン酸メチルエステルチタン塩が得られる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0215

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0215】

例 19

442 g (2 モル) の 3 - (エチルブトキシホスフィニル) プロピオン酸 (例 11 のように製造したもの) 及び 340 g (1 モル) のチタンテトラブチレート を、4 時間、対応するブタノールの還流下に 130 ~ 140 に加熱する。次いで、生じた溶液を 2.5 L の水中に投入し、そして沸騰するまで加熱する。次いで、生じた反応混合物から溶剤を除去して 3 - (エチルブトキシホスフィニル) プロピオン酸チタニル塩を単離する。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 9】

触媒 B が、過酸化水素、過酸化ナトリウム、過酸化リチウム、過硫酸カリウム、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、パーオキシ二硫酸ナトリウム、パーオキシホウ酸カリウム、過酢酸、過酸化ベンゾイル、過酸化ジ - t - ブチル及び / またはパーオキシ二硫酸であるか、及び / またはアゾジイソブチロニトリル、2, 2' - アゾビス (2 - アミノプロパン) - ジヒドロクロライド及び / または2, 2' - アゾビス (N, N' - ジメチレン - イソブチルアミジン) - ジヒドロクロライドであるか、及び / またはリチウム、水素化リチウム、水素化アルミニウムリチウム、メチルリチウム、ブチルリチウム、t - ブチルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド、ナトリウム、水素化ナトリウム、水素化ホウ素ナトリウム、ナトリウムメタノレート、ナトリウムエタノレートまたはナトリウムブチレート、カリウムメタノレート、カリウムエタノレート及び / またはカリウムブチレートであることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 の一つまたはそれ以上の方法。